

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅看護概論	科目区分	統合分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位（時間）	1（30）	開講時期	2 年前期
担当教員：木下 典子 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅看護業務に携わった教員が教授している					
≪科目目標≫ 学習目的：地域保健医療福祉活動を知り、その中での在宅看護活動の機能と役割を理解するとともに在宅ケアの視点を理解する 学習目標：1. 看護をめぐる諸情勢の変化と在宅ケアニーズを理解する 2. 在宅看護の目的と特徴、対象者を理解する 3. 在宅看護の制度、社会資源、ケアマネジメントや連携を理解する 4. 地域保健医療福祉活動を理解する 5. 訪問看護制度の基本を理解できる					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ ① ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 公衆衛生がみえる MEDIC MEDIA					
≪授業外における学習方法≫ 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	在宅看護のイメージ			講義・演習
2	2	在宅看護の背景、基盤、地域療養を支える在宅看護の役割・機能			講義
3	2	在宅看護を展開するための基本理念、在宅看護における倫理			講義
4	2	地域保健医療福祉活動の現状			講義
5	2				
6	2	在宅看護の対象者、在宅療養の成立要件			講義
7	2	在宅療養の場における家族のとらえ方、家族への支援			講義
8	2	地域包括ケアシステム、地域包括支援センター療養の場の移行に伴う看護、他職種連携、ケアマネジメント			講義
9	2				
10	2	地域療養を支える制度			講義
11	2	社会資源の活用、医療保険制度、介護保険制度			
12	2	障害者総合支援法、難病法			
13	2	在宅療養を支える訪問看護			講義
14	2	訪問看護の特徴、訪問看護ステーション、初回訪問			
15	2	療養者の理解（難病・小児）			